



異なるワクチンを接種する際の接種間隔

接種したワクチン



次に接種するワクチン

注射生ワクチン

- BCG
- 麻しん・風しん混合 (MR)
- 麻しん
- 風しん
- 水痘 (水ぼうそう)
- おたふくかぜ^{など}

27日以上



注射生ワクチン

間隔に関する規定はありません

経口生ワクチン
不活化ワクチン

経口生ワクチン 不活化ワクチン

- ヒブ (Hib)
- 小児用肺炎球菌
- B型肝炎
- ロタ
- 4種混合 (DPT-IPV)
- 5種混合 (DPT-IPV-Hib)
- 2種混合 (DT)
- 日本脳炎
- HPV (子宮頸がん予防)
- インフルエンザ^{など}

注射生ワクチン

経口生ワクチン
不活化ワクチン

(注意)

- ・接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹などの症状が出ることがあります。規定上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や接種部位の腫脹がないことなど、体調に問題がないことを確認してから、接種してください。
- ・特に医師が認めた場合、同時接種を行うことができます。
- ・同一のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔については添付文書等の規定に従ってください。